

2022年8月12日

サステナビリティ経営の実現を目指す森永乳業

## 【環境省支援事業】

# インターナルカーボンプライシング(ICP)を用いた 投資決定モデル事業に参画決定

森永乳業グループは、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、今年度よりサステナビリティ中長期計画 2030 を推進しています。「食と健康」「資源と環境」「人と社会」という 3 つのテーマを軸に活動を行い、7 つのマテリアリティ(重要取組課題)を通じてサステナビリティビジョンの実現を目指します。「資源と環境」においては、気候変動の緩和と適応にむけ、2050 年までにカーボンニュートラルを実現することを目指しています。

このたび、環境省による支援事業「令和4年度インターナルカーボンプライシング(以下 ICP)を用いた投資決定モデル事業」に当社が参画することとなりました。今回選定された企業は 4 社であり、そのうちの 1 社が当社となります。

ICPとは Internal Carbon Pricing の略で、企業内部で見積もる炭素の価格であり、企業の低炭素投資・対策を推進する仕組みです。気候変動関連目標(SBT/RE100)に紐づく企業の計画策定に用いる手法であり、省エネ推進へのインセンティブ、収益 機会とリスクの特定、あるいは投資意思決定の指針等として活用され、近年、ICP を導入する企業が増えています。

当社は、今回の事業を通じて、2023 年度からの社内での運用を目指しています。

◆森永乳業ウェブサイト ～森永乳業のサステナビリティ～

<https://www.morinagamilk.co.jp/sustainability/>

◆環境省 報道発表資料

[インターナルカーボンプライシング\(ICP\)を用いた投資決定モデル事業参加企業決定について](#)

以上